

ウィレム4世 (オラニエ公) (出典: フリー百科事典「[ウィキペディア \(Wikipedia\)](#)」)

ウィレム4世 (オランダ語: Willem IV van Oranje-Nassau、1711年9月1日 - 1751年10月22日) は、オラニエ公 (在位: 1711年 - 1751年) および**オランダ総督** (在任: 1747年 - 1751年)。オランダ (ネーデルラント連邦共和国) 7州の総督を全て兼ね、また**総督職の世襲を公認された最初の人物**である。父は**オラニエ公**ヨハン・ウィレム・フリーゾ、母は**ヘッセン=カッセル方伯**カールの娘マリア・ルイーゼ。

家族

1734年3月25日、ウィレムはセント・ジェームズ宮殿で**グレートブリテン王兼ハノーファー選帝侯ジョージ2世の長女アンと結婚**した。2人は1男4女をもうけ、うち1男1女が成人した。

- 死産 (1736年12月19日)
- 死産 (1739年12月22日)
- カロリーナ (1743年2月28日 - 1787年5月6日) - 1760年、ナッサウ=ヴァイルブルク侯カール・クリスティアンと結婚
- アンナ (1746年11月15日 - 12月19日)
- ウィレム5世 (1748年3月8日 - 1806年4月9日)